

**平成25年度受賞 高崎市立長野郷中学校**

活動を始めた時期：平成19年4月 推薦：高崎市長

～活動報告～

学校に配置されている栄養士が核になり、養護教諭や給食主任等の関係職員と連携をとりながら校内や地域での食育推進に取り組んでいる。特に、平成23年度から年2回、家族との絆を深め「生きる力」の育成をねらいとして、PTAと連携して“生徒が作る『弁当の日』”を実施している。親子の対話の推進や家庭で摂取しにくい野菜を食べて欲しいという思いから始まった『弁当の日』は、生徒の食材に対する興味関心を高めるとともに、食事の作り手への感謝の気持ちの育成にもつながり、給食残量にも変化がみられる。何よりも友達が作った弁当からの刺激も大きく、自主的に行動しようとする態度もみられ、成果を上げている。

このほか、生徒と給食室職員の給食に関する意見交換の連絡ノートを作り、それを給食作りに反映させたり、給食委員会の生徒が、家庭で摂取しにくい食材である豆類や野菜を使い、美味しく食べられるメニューを学校栄養士の助言のもと作成する取組も行っており、メニューについては、今後の給食にも導入される予定である。

また、群馬県内を含めた全国各地の郷土食や季節にちなんだ行事食を提供することにより、地域の食文化の伝統に対する理解と関心を深めるとともに、季節の旬の食材を使用して季節を感じる給食作りを行い、生徒の食に対する興味関心を高めるよう努めるなど、食育推進活動に取り組んでいる。

# 活動の様子

